



生徒が心のWAでつながった太東祭

10月23日(金)に太東祭を開催しました。今年は新型コロナウイルス感染症の関係で体育会や中体連、そして合唱コンクール等多くの行事が中止や延期となってしまったため、「何か生徒全員がリーダーを中心にまとまり、自分たちの力で成し遂げられるような行事はできないものか」と、全教職員で考えました。その結果、学級ごとの創作ダンスコンクール、同じく学級ごとの太宰府をテーマにした「貼り絵」の作成、美術部や教科で作成した作品の展示や芸術鑑賞を行う「太東祭」を実施することになりました。例年に行わない行事で、教師も生徒も試行錯誤しながらの取組でしたが、どのクラスも創作リーダー・ダンスリーダーを中心にさまざまな課題を乗り越えながら一致団結し、素晴らしいパフォーマンスを発揮してくれました。

当日は、午前中各クラスの貼り絵をお互いに見学したり、博多金獅子太鼓と博多独楽の鑑賞をしたりして、午後は創作ダンスコンクールを行いました。前日が大雨になり運動場での開催を心配しましたが、当日は絶好の秋晴れとなり、多くの保護者が見守る中、「かける～心のWA!～」のスローガンのもと、どのクラスも生徒が心のWAでつながり、見事な創作ダンスを披露してくれました。生徒が笑顔で一生懸命踊る姿が本当に輝いていて、思い出に残るとても良い行事になったと思います。当日は短い時間でしたが、たくさんの保護者の皆様にご参観いただき、心から感謝申し上げます。



【11月7日の授業参観での保護者アンケートから】

- ダンスは個人的にはみんな学年毎で成長していてすごいなと思いました。一つのものを作り上げる姿が立派だと思いました。貼り絵もクラス毎にカラーがあり、とても上手でした。緻密に貼り合わせていてすごいと思いました。
- 皆で1つの事に取り組むに当たってダンスと貼り絵というのは身体を動かすことと芸術的なこととそれぞれの得意を活かせる場になってとても良いと思いました。
- 今、この状況でできる事を考えてくださった先生方に感謝でした。子どもたちの協力する団結する様子が見れて感激しました。
- ダンスコンクール見ていて楽しかったです。輝いてました！元気をもらいました。貼り絵も限られた時間の中ですごいです！
- すごいまとまりがあって見てて楽しかった。3年生はさすが。貼り絵も各クラス個性があって3年生はやはりさすが！！な作品でした。